

市保健環境委員大会要望事項

(中 川 区)

事項名	食品ロス対策の推進について
内 容	食品ロスは国内で472万トン、市内の推計値では、家庭系5.4万トン、事業系3.4万トンと、全体で約9万トン程度の食料品が、まだ食べられるにも関わらず、ごみとして処分されています。 食品ロス削減は、ごみの減量に対する効果の他に、SDGsの目標である、「つくる責任 つかう責任」において持続可能な消費と生産パターンを確保することを目的とするこの目標に直接貢献するとともに、「飢餓をゼロに」の目標においても、食料を必要とする人々へのアクセスを改善し、飢餓を終わらせることに繋がります。 現在、コンビニ、スーパー等でも、食品ロス回収ボックスを見かけるようになりましたが、前述の処分量からは、まだまだ市民、事業者の協力が不十分な状況であると言えます。 食品ロス対策は、ごみの減量効果はもとより、子供食堂であったり、貧困家庭の救済であったり、飢餓に苦しむ人々の、多くの問題の改善に繋がります。 フードドライブ等の受け入れ拠点の増加を図るとともに、食品ロス対策、フードドライブ事業等に関する市民の理解、認知度を高めるなど、食品ロスの削減に向けた取り組みの更なる活性化を要望します。
備考	